

はたらき続けられる賃金、労働条件の確保のために 介護報酬の大幅引き上げを！

～現場の実態を審議会委員に届けましょう～

全労連 介護・ヘルパーネット

いま、厚生労働省の社会保障審議会・介護給付費分科会で2021年介護報酬改定に向けた議論が進められています。介護給付費分科会の委員のみなさんに、現場でがんばっているわたしたち介護労働者の直接の声を届け、わたしたちの賃金・労働条件の改善につながる介護報酬の改定をめざしましょう！

介護の現場はぎりぎりです。介護労働者の確保は介護保険制度存続の根幹にかかわる最重要課題になっています。処遇改善と体制拡充なしに介護労働者確保はありえません。

必要な時にはいつでもPCR検査が受けられる体制で介護崩壊を防ぎましょう。私たち現場労働者の声を審議会委員や国会議員に届け、大きな世論を作っていきましょう

これまで、数次の処遇改善加算を勝ち取り、コロナ対策の慰労金を勝ち取ってきた私たちにはその力があります。あなたの声にはその力があります。ご協力をお願いします。

裏面の一言カードに現場の実態を書いてください。そのままコピーして社会保障審議会介護保険部会の委員に送付するとともに、衆参の厚生労働委員に届けます。

私たちの要求

- ① 介護職場で働くすべての労働者の賃金を「月8万円以上」引き上げ、全産業平均の「年収440万円以上」とすること。最低時給を1500円以上にすること。
- ② 人員配置基準を大幅に引き上げ、介護利用者がその尊厳を保持し、介護労働者が安全と健康を確保できるようにすること。
- ③ 夜勤体制の最低基準を複数体制とすること。夜勤明け勤務について、利用者、労働者の安全を守る上でも解消すること。

//私のひとこと//

都道府県名 _____ 名前 _____ 年齢 _____
事業所のサービス種 _____ 職種 _____